

# 4

## 有効的な宣伝ツールの作り方

ナイスハートバザールの成功の鍵を握る宣伝ツール。しかし潤沢な広報予算が取れない中でのツールづくりには、どこの主催者も頭を悩ませていることでしょう。そこで提案したいのが、印刷コストを最低限で抑えながら、まるで雑誌のようなカタチで情報を盛り込めるオリマガ（四ツ折りマガジン）というメディア。作り方をそれぞれが工夫していけば、無限の可能性を秘めています。

### 安い・簡単・便利 三拍子揃ったオリマガ形式

オリマガは、目からウロコの斬新な発想で生まれたまったく新しい宣伝ツール。印刷仕様としては、単なるA4判の両面チラシにすぎません。そのため印刷コストは非常に安いのですが、折ることによって①表紙 ②小見開き ③メイン見開き ④裏表紙（広告スペース等）という4種類の紙面展開が生まれます。これを活かせば、小さいながらもちょっとした雑誌やパンフレットと同様の情報を盛り込むことができるわけです。

ナイスハートバザール全体のチラシに採用するなら、③のメイン見開きが商品紹介ページとなります。サンプルとして後述する実験販売会「ナイスハートバザールin KOGA」のオリマガを試作しました。実際に手にとって見てもらい、その効果を体験してください。A4判では少し小さいと感じるならば、サイズをA3判に拡大するのもOK。展開したときに、よりダイナミックなチラシにすることができます。

メイン見開きの使い方としては、商品紹介カタログだけでなく、イベントなどの報告（多数の写真を散りばめる）、新商品の開発意図の紹介、利用者や関係者のインタビュー記事などが考えられます。実際に作成した施設・団体のオリマガのサンプルをPDFにし、ウェブサイトにアップしてあります。右頁下に記載したQRコードでアクセスすればダウンロードできますので、参考にしてみてください。



## 施設ごとにオリマガを作ってみよう

オリマガがメディアとして優れているのは、配布のしやすさにもあります。折り込んだサイズはA6判ですから、文庫本とほぼ同型でコンパクト。配るのに、とても便利です。郵送する場合にも、定形封筒に入りますから最低限の費用しかかかりません。飲食店や受付テーブルなどの卓上に置いてもらうのにも向いています。

もう一つの特徴は、表紙をあたかもミニ雑誌のようなカタチにしていること。一冊だけでもユニークなのですが、複数（バックナンバー等）を並べると壮観です。この特色を活用して、ナイスハートバザールの出店者ごとに独自のオリマガを作ると面白いことになります。表紙イメージだけ統一すれば、あとの構成は施設オリジナルで考えてもらってかまいません。ふんだんに施設のアピールをしてもらいましょう。

こうして完成したオリマガを、バザー会場の一角で一堂に並べてもよし（施設紹介パンフレットコーナー）。店舗毎に配布して、収集したくなるように仕向けるもよし。内容はバラバラだけど、統一感ある形状でまとめられたオリマガシリーズは、参加施設のことをお客様に伝えてくれる格好のメディアになるでしょう。



◀実際に福祉施設等で制作されているオリマガの参考事例

[K プランニングホームページ]

(QRコードにアクセスすることで、PDFデータをダウンロードできます)